

**【追悼 橋本忍】11月11日（日）橋本忍生誕100年記念シンポジウム
「理不尽への怒りと狂気に至る世界～橋本忍脚本の魅力と影響力～」**

橋本忍生誕100年記念事業実行委員会（兵庫県市川町）は、橋本忍生誕の地である兵庫県市川町にて2018年11月11日（日）に記念シンポジウムを開催いたします。
つきましては、ご取材・ご掲載のご検討のほど、どうかよろしくお願いいたします。

▼イベント名：

橋本忍生誕100年記念 シネマシナリオフェスティバルシンポジウム
「理不尽への怒りと狂気に至る世界～橋本忍脚本の魅力と影響力～」

URL <http://hashimotoshinobu100th.com/>

■ 開催趣旨

「羅生門」「生きる」「七人の侍」をはじめとする黒澤映画や「砂の器」「八甲田山」「私は貝になりたい」等、日本映画を代表する数々の映画を生み出した脚本家、橋本忍。同氏の故郷、兵庫県市川町では、橋本忍生誕100年を記念し、追悼の意を込めつつ、未来に繋げるための記念事業を展開しています。

本シンポジウムは、パネリストに、山田洋次氏とともに橋本氏の数少ない弟子の一人である脚本家、中島丈博氏（『おこげ』『草燃える』『真珠夫人』）や、東京国際映画祭などで高い評価を受けている気鋭の映画監督・渡辺紘文氏（『そして泥船はゆく』『プールサイドマン』『地球はお祭り騒ぎ』、11月中旬公開予定『普通は走り出す』<http://spotted.jp/2018/05/hutsuhahashiridasu/>）、橋本忍記念館創設に尽力した博物館学・高橋信裕氏、地域創生の担い手育成で全国に多くの実績を持つ榎田竜路氏、司会に映画評論家の石飛徳樹氏を迎え、橋本氏に纏わる様々なエピソードや制作の裏話から「橋本レガシー」が若い世代や、地域社会の創生・再生にどのように継承され、影響を与えるのかを検証します。

■ 開催概要

日時：2018年11月11日午後1：00開場 午後1：30開演

会場：市川町文化センター ひまわりホール

参加費：無料

参加人数：定員500名 *定員になり次第締め切り

パネリスト：

中島丈博（脚本家）

高橋信裕（博物館学、高知みらい科学館館長、元文化環境研究所所長、元常磐大学教授）

渡辺紘文（映画監督 <https://foolishpiggiesfilms.jimdo.com/>）

榎田竜路（メディアプロデューサー、（合）アースボイスプロジェクト代表社員）

司会：石飛徳樹（朝日新聞記者、映画評論家）

*中島丈博氏による基調講演あり（タイトル「追い詰められて鬼となれ」）

<同時開催>

橋本忍生誕 100 年記念事業 夏休みポスター制作講座

「For Our Future ～物語が生まれる町、市川町～」ポスター展

橋本忍さんの母校であり、ご自身が作詞された市川町立鶴居小学校の校歌をモチーフに同校の生徒たちが制作したポスターを展示します。

主催：兵庫県市川町（橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会）

（企画制作：合同会社アースボイスプロジェクト）

共催：橋本忍記念館

後援：日本シナリオ作家協会、兵庫県、神戸新聞社

■団体概要

名称：橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会（兵庫県市川町）

代表者：実行委員長 岩見武三（市川町長）

所在地：〒679-2315 兵庫県神崎郡市川町西川辺 165-3

URL：<http://hashimotoshinobu100th.com/>

*事務局：合同会社アースボイスプロジェクト

所在地：鎌倉市大町 5-13-10

URL：<http://ev-pj.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

橋本忍生誕 100 年記念事業実行委員会事務局

（合同会社アースボイスプロジェクト内）担当/榎田智子

Mobile 080-8048-1932 Tel 0467-24-1740

Email info@ev-pj.com